

学校図書館活用推進事業 学校司書の配置について

令和4年4月より新たに「学校司書」を配置します

平成27年度から開始した学校図書館活用推進事業は、令和4年度で8年目をむかえます。学校図書館補助員の配置をきっかけに、明るく、使いやすい図書館へと環境改善されてきました。整備された学校図書館を活用した教育活動の充実に向けて、学校図書館補助員にかえて、学校司書等を配置する体制変更を行います。教員と学校司書が協力して学校図書館活用推進、教育活動・読書活動の活性化に取り組んでくださいますようお願いいたします。各種のご相談は、学校司書を通じて市立図書館にお寄せください。

- この4月から、従来の学校図書館補助員にかえて、新たに学校司書を配置
- 全小中学校のうち24校には「主幹学校司書」を週4日、その他の学校に「学校司書」を週1日配置
- これまで整備されてきた学校図書館の一層の活用のため、学校司書はより専門的な業務にあたります
- 市全体で力をあわせて、新たな制度を育んでいきましょう！

学校司書・主幹学校司書の配置について

学校司書 386校 各校週1回6時間（1人の学校司書が2～3校兼任）

主幹学校司書 24校（各区に1校） 各校週4日30時間（1校専任）

4月当初中央図書館での採用時研修を経て、学校司書4月8日以降、主幹学校司書4月6日以降着任

学校司書の仕事

ほとんどの学校では、学校司書は従来の補助員と同じく週1日配置ですが、業務内容は補助員の基本的な業務だったもの(★)に加え、より専門的な業務(☆)にシフトし、学校図書館の一層の活用推進を目指すこととします。

★開館	学校図書館の開館、貸出・返却、見守り
★環境整備	館内の整理整頓、掲示物の作成、展示
★つなぐ仕事	学校図書館の活動を支援するために、必要に応じて市立図書館などにつなぎ、サポート体制をつくるしごと
☆蔵書管理	選書（支援）、除籍（候補本選定）、統計
☆利用支援	レファレンス（調べもの支援）（対象：児童・生徒・教職員）、読書相談・読書案内
☆学習支援	調べ学習支援（課題に応じた図書準備等）、オリエンテーション、利用指導、図書の時間対応（読み聞かせ、ブックトーク等）
☆読書普及活動	配架調整計画作成、読書週間・読書月間の取り組み提案・実施

各学校においてはすでに☆の業務の一部を補助員が担っている場合もありますが、この4月を機会に各学校で学校司書の業務範囲や教員・ボランティアとの役割分担をご検討ください。

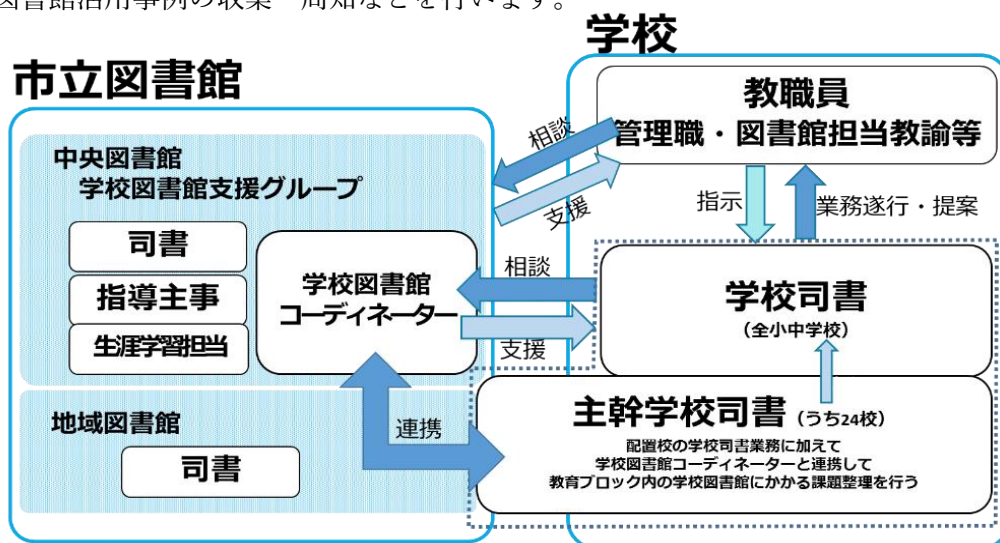
授業での学校図書館活用が広がるために…

配置当初は、先生方も学校司書もいろいろな戸惑いがあると思います。現場での仕事が進むにつれて、少しずつ学校司書の役割への理解が広がり、授業での活用も多くなっていくと考えています。

学校司書・主幹学校司書へは、定期的に研修を実施し、専門的スキルを高めていきます。また、教員研修や SKIP ポータル等を通じて、授業での活用事例の積極的なご紹介に努めます。

支援体制

これまでの 学校図書館補助員コーディネーター、学校図書館補助員チーフコーディネーターにかえて、新たに「学校図書館コーディネーター」を各教育ブロックに 1 人（計 4 人）配置し、学校司書の支援や学校図書館活用事例の収集・周知などを行います。



市立図書館の学校支援・学校図書館支援について

- (1) 市立図書館ホームページ内に情報を集約しています
学校支援のページ https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=875
学校図書館活用推進事業のページ https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=1577
- (2) 「市立図書館活用の手引き」の発行 令和 4 年 4 月改訂版を 4 月以降各校にお配りします。
- (3) 学校図書館ボランティア講座の開催
- (4) 司書教諭スキルアップ講習の開催 学校図書館担当教員を対象に、夏休みに開催する予定です。
- (5) 電子図書館機能の提供（商用データベース JapanKnowledge、電子書籍 EBSCO eBooks 等）
利用方法は市立図書館ホームページをご覧ください。